

章	項 目	特 記 事 項
空 調 設 備 ・ 換 気 設 備	⑨ ① 配管材料	1) 給水 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-V A) (JWWA K 116) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) ・ 給水用高密度ポリエチレン管 (PWA 0 0 5) 2) 冷温水 ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) ・ 配管用炭素鋼管 (SGP白) (J I S G 3 4 5 2) ・ 架橋ポリエチレン管 (J I S K 6 7 6 9) ・ ポリブテン管 (J I S K 6 7 7 8) (注) 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管はファンコイル ユニット機器接続部のみに使用する。 ・ 空調配管用高性能ポリエチレン管 (NET I S 登録品) 3) 冷却水 ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-V A) (JWWA K 116) ・ 配管用炭素鋼管 (SGP白) (J I S G 3 4 5 2) ・ 給水用高密度ポリエチレン管 (PWA 0 0 5) 4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼管 (SGP黒) (J I S G 3 4 5 2) 5) 油 ・ 配管用炭素鋼管 (SGP黒) (J I S G 3 4 5 2) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (J I S G 3 4 6 9) 6) 蒸気還管 ・ 圧力配管用炭素鋼管 (STPG370黒Sch40) (J I S G 3 4 5 4) 7) 冷媒 ・ 冷媒用断熱材被覆鋼管 (ポリエチレン保温材 (難燃性)) (J C D A 0 0 0 9) 8) ドレン ・ 配管用炭素鋼管 (SGP白) (J I S G 3 4 5 2) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (J I S K 6 7 4 1) ・ 空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管 9) 60Su以下のステンレス鋼管継手は一般配管用ステンレス鋼管 の管継手性能基準による継手とする。75Su以上のステンレス 鋼管継手はハウジング継手とする。
	② 管の接合等	1) 給水用高密度ポリエチレン管、空調配管用高性能ポリエチレン管 を使用する場合は配管支持間隔は標準仕様書及びメーカー施工 標準のうち小さい方を適用する。 2) 架橋ポリエチレン管及びポリブテン管の支持間隔は標準仕様書に よるほか、メーカーの示す施工方法に準じ分岐部及び曲がり部 においても適切に固定する。 ステンレス製ベローズ形とする。 ③ フレキシブル ジョイント ④ 空気抜き 空気溜まりを生ずる箇所には、操作の容易な位置に空気抜き装置を 設ける。 5. ダクト 1) 長方形ダクトの製作 ・ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法 (・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ) ただし、長辺が1500mmを超えるもの及び、最大静圧が 500Paを超えるものはアングル工法とする。 2) 円形ダクト ・ 亜鉛鉄板製 (スパイラルダクト)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 硬質塩化ビニル製（VU管）
	<p>3) 防火区画貫通部の施工</p> <p>貫通する部分の前後150mm以上を1.6mmの鋼板製とする。</p>
6. 吹出口、吸込口	<p>1) 枠及びスリットの材質はアルミニウム製とする。</p>
7. 点検口	<p>2) 着色・する・しない</p> <p>サプライチャンバー、リターンチャンバー等には点検口（450×600）を取り付ける。</p>
8. チャンバー	<p>外壁に面するガラリに設けるチャンバーは有効なドレン装置を設置すること。</p>
9. 予備フィルター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図記による。 ・ フィルター装着枚数の（・100%・%） <p>ただし、ルームエアコン、パッケージ形マルチ室内機、カセット形全熱交換器、カセット形ファンコイルを除く。</p>
10. ばい煙測定口	<p>煙道内の排気流速が安定している直管部分に80φのものを取り付けること。</p>
①1. 屋外フード類	<p>着色・する・しない</p>
①2. 弁の耐圧	<p>図記なき弁の耐圧は10kとする。</p>
①3. 空調用流体の水質基準	<p>日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器用水質ガイドライン）による。</p>
①4. 高調波対策	<p>定格電流値が20Aを超える機器は高調波対策を施す。</p>